

川崎市病院栄養管理部会では病院栄養管理に関りのある最新の情報、管理栄養士・栄養士の資質向上と専門性の確立、連携や情報交換を目指して研修会を行っていますが、1日を通しての研修会を一昨年より企画しており、今回が2回目の大きな研修会になります。

今回の研修会では、4題のテーマについて、47名の参加者とともに学びました。

まず1題目は駒沢女子大学人間健康学部健康栄養学科教授の西村一弘先生より、「糖尿病性腎症重症化予防に役立つ栄養管理」～減塩指導とノウハウと取り組み～として腎臓の働きのおさらい、実際のレシピを紹介いただきながら「乳和食」による減塩の工夫や低たんぱくの工夫や事例、また栄養指導を行っていくために我々が心がけておくこと、低たんぱく食の必要性の伝え方など実践的なお話で多くのことを学びました。



2題目はランチョンセミナーとして「最新の褥瘡治療と適切な栄養管理」について株式会社大塚製薬工場横浜支店 横浜営業所一課課長稲田健介先生より、栄養介入試験の解説や各栄養素について解説、投与にあたっての問題点など、根拠があり、実践につながる内容を学ぶことが出来ました。

3題目は悠翔会在宅クリニック川崎院長宮原光興先生より「在宅での嚥下機能評価と栄養チームとの連携」として、在宅での経口摂取についての取り組みや活動についてご講演いただき、医療施設間だけではなく地域や介護との連携が求められている中で地域へ戻った患者さんの様子を学ぶことにより、病院からの情報提供の方法や求められている情報などを具体的に学ぶことが出来ました。



4題目は「嚥下障害患者の栄養管理について」～嚥下造影・嚥下内視鏡結果からわかること～として私と言語聴覚士の尾原恵美先生より今年度から栄養指導料算定が可能になった摂食嚥下障害について、健常者も含めた嚥下造影、嚥下内視鏡の動画を見ながら、尾原先生からの解説を加えながら摂食嚥下機能についての理解を深めました。

1日を通しての研修でなにぶん不手際もありましたが、今回は医療だけではなく、福祉や行政機関からの参加者もあり、これらの参加者の反応から、職域を超えた連携の重要性、医療施設間だけではなく、地域や介護分野との連携の重要性や日頃の指導業務などの見直しを行う一つのきっかけとなったと思います。今後とも最新の情報が提供できるよう川崎市病院栄養管理部会として努力していきたいと思っています。